

農業市場学研究室案内 2013年後期

2013/10/16

1 教員の講義担当

	氏名	講義名	対象学年
教授	野見山敏雄	生産学原論(分担) 農業市場学(分担) 現代農業経営学(分担)	1年(前期) 3年(前期) 3年(後期)
助教	成田 拓未	食糧政策論(分担) 農業経営学(分担) 農村社会学(分担) 現代農業経営学(分担) 食糧政策論(分担)	修士1年(前期) 3年(前期) 3年(後期) 3年(後期) 2年(後期) 修士1年(前期)

2 教員および院生・学生の研究テーマ

教授	野見山敏雄	1,産地の市場対応と産地形成 2,産直流通の展開課題
助教	成田 拓未	1,東アジア市場と日本の果樹農業 2,中国における農民専業合作社
博士特別 研究生	土屋 成慶	農協における青果物販売事業政策に関する研究
修士課程	于 国寧 黄 格日樂吐 洪 月花 李 虎 北 森 愛子 趙 哲 吉村 圭太	産直の物流に関する研究 牛肉の流通に関する研究 加工用果実の生産と流通に関する研究 輸出商社の企業行動に関する研究 国内産小麦の需給動向に関する研究 農産物直売所における安全・安心の確保に関する研究 エコフィードの現状と課題
研究生	ブイ・バオ・ロン ユ・ヒョジュン	外国産果実の輸入に関する研究 有機農産物流通の変化による生産者の対応と課題
4年生	石川 諒 榑原衣久枝	大豆加工業者の原料調達に関する研究 農業の新規参入に関する研究
特別研究 学生	呉 迪 黄 文希	
3年生	飯村 一碩 永守みちる 藤本 隆聖	

3 学部卒業生および大学院修了生の進路 (末尾の数字は卒業・修了年度)

学部卒業生	大学院修士課程修了生
<ul style="list-style-type: none"> ・本学大学院農学研究科-13×2, 12×2, 09 ・日本貿易振興機構(JETRO)-12 ・農林水産省-09 ・赤城乳業(株)-09 ・(株)三幸食品-09 ・中国留学(中国人民大学)-08 ・(株)味の素-08 ・(株)モンテローザ-08 ・厚生労働省-07 ・(株)いなげや-07 ・(社)家の光協会-07 ・茨城県庁-06 ・上越教育大学院-05 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)コスモネット-13 ・(株)グレイス-12 ・月島食品工業(株)-11 ・韓国・農村振興庁-10 ・(株)ディー・エル・イー-10 ・本学大学院連合農学研究科-09, 03, 98, 97 ・(社)全国農業共済協会-07 ・新日鉄ソリューション-06 ・JA全農-05 ・(株)上昇-05 ・(株)花弘-04 ・北海道庁-03 ・鳥取県庁-03

4 最近の卒論及び修論のテーマ (・=卒論, ◇=修論)

- ・国内産小麦の需給動向に関する研究-需要拡大の課題-12
- ・日本産農林水産物・食品の輸出に関する研究-根室産サマのベトナム向け輸出を事例として-12
- ・エコフィードの現状と課題-飼料化事業から考察した今後の食品リサイクルの展望-12
- ・食品企業における食育のあり方に関する研究-09
- ・生協産直の現段階と果たすべき役割-09
- ・都市農業・農地存続のための自治体の役割-農のあるまちづくりを事例に-09
- ・リスク伝達手段としての農産物認証制度の意義と課題に関する研究-08
- ・農産物の地域ブランド化の現状と課題に関する研究-08
- ・絹織物における手仕事の意味-07
- ・食品の安全・安心問題と食品安全行政の対策に関する-考察-食品衛生法を中心に-07
- ・日本における農産物輸出の現状と課題-07
- ◇生活型農産物直売所の意義と今後の可能性に関する研究-12
- ◇日本における有機農産物流通の形態としてのオーガニック・ファーマーズ・マーケットの現状と課題-12
- ◇生協産直における農産物の価格形成と需給調整に関する研究-共同購入事業を中心として-11
- ◇日本の食品産業におけるハラル展開の可能性と課題に関する研究-11
- ◇学校給食における地産地消の可能性と限界に関する研究-都市地域を中心に-10
- ◇外国人観光客の誘致による地域活性化に関する研究-10
- ◇食品加工企業におけるトマト原料の契約取引に関する研究-09
- ◇ソース企業における原料調達構造と製品製造に関する研究-07
- ◇地産地消における学校給食の食材調達構造に関する研究-埼玉県を事例に-07

